

唐澤耕司・石田源次郎 著

エビネ属

形態と分類

原種ラン
シリーズ

責任編集 唐澤耕司

内容と特徴

特徴をよく伝える鮮明なカラー写真 エビネ属の総合的解説
形態(外部形態と核形態)・分類・分布・交雑種・栽培など 主要
48種の詳細な形態解説(付・染色体写真) 豊富な参考図版(顕
微鏡写真や形態・解剖図) 登録済み交雑種の一覧表 詳細
な参考文献(内外)の一覧表 エビネ属全種(約200種)の学名
の整理一覧表 詳細な索引

八坂書房

はじめに

エビネ属は数ある地生ランの中で最も美しいランの一つである。

日本の野山にはおよそ20種のエビネ属植物が自生し、それぞれが
変異に富むばかりでなく、異なる種の分布が重なる地域では、長年
の間に多くの自然交雑が生じ、そのさまざまな色彩変化は言葉では
言い尽くせないほどの見事さである。これら自生地を見て感動し、
エビネ属の調査研究を始め、この美しいエビネの楽しみを分かち合
いたい思いで故伊藤五彦博士と共に『エビネとその仲間』を著した
のは1969年、今から約30年前のことである。その時、この自然
の宝が失われることなく、正常な園芸として発展することを願い人
工交配の勧めに意を注いだものであった。その後30年、多くの人た
ちの努力によって今日、天然交雑を凌ぐ数多くの人工交雑種が作出
され国際的にも認められるようになったことは本当に嬉しいこと
である。この間筆者らはさらに染色体を始めとする基礎的研究を進め
てきたので、それらをまとめたものが本書である。これが少しでも、
お役に立ち、外国産の種を含めてさらにエビネ園芸が発展してくれ
ればと願うものである。

唐澤耕司

膨大な栽培愛好者をもつ美しい蘭のグループ「エビネ属の植
物」のうち、観賞性の高い48種(日本産全種を含む)につい
て、その分類・形態・染色体・花期・分布・類縁関係などを、
鮮明なカラー写真や豊富な単色図版を添えながら詳述し、育
種や交雑、栽培などに役立つ情報を満載。エビネ属について、
いま望みうる最新・最高の情報を提供する貴重な一冊。

著者略歴

唐澤耕司(からさわ こうじ)
一九三一年長野県生まれ。一九五二年東京教育大学高等師範
植物学科卒業。以来高等学校、大学で植物学を講義するかた
わら、ラン科植物の調査研究と育種を続ける。理学博士(ラ
ンの細胞遺伝学)。
広島市植物公園園長、熱帯資源植物研究所所長、(株)沖縄蘭
研代表取締役社長、同会長を歴任。日本蘭協会、日本洋蘭農
業協同組合等の審査員。国際ラン委員会常任委員。日本えび
ね協会顧問。理学博士(ランの細胞遺伝学)。
主著 『世界の野生蘭』(全8巻、刊行中)、『パフィオペディ
ルム 種分化の道すじ』、『エビネとその仲間』、『えびね』、
ほか多数。

石田源次郎(いしだげんじろう)

一九四七年大阪市生まれ。大阪府立大学農学研究科修士課程
修了。理学博士(ランの細胞遺伝学)。
広島市植物公園栽培課長、広島市農業振興センター園芸課長
を経て、現在同センター指導課長。日本えびね協会顧問。
主著 『野生らんの作り方・殖やし方』、『ミニオーキッドの
作り方・殖やし方』、『日本のラン』、『新園芸相談・洋ラン』、
『シンピディウム』、など。



本書の目次より

口絵

野生状態 [写真1-9]
Calanthe 亜属 [写真10-65]
Calanthe 節 [写真10-60]
Styloglossum 節 [写真61-65]
Preptanthe 亜属 [写真66-74]
訪花昆虫 [写真75-76]
自然雑種 [写真77-89]

Calanthe とは

外部形態
1. 根
2. 球茎
3. 葉
4. 花
5. 種子と初期形態形成

核形態

1. 染色体研究の歴史
2. エビネ属の染色体観察
3. エビネ属の染色体概要
4. 染色体から見た特徴
5. 総合的に見た系統進化

分布

分類

1. エビネ属 (Calanthe R. Br., 1821)
2. 近縁属との関連
3. エビネ属の亜属と節

種の解説

Calanthe 亜属
Calanthe 節
Styloglossum 節
Ghiesbreghtia 節
Caulodes 節
Rhodochilus 節
Aceratochilus 節
Preptanthe 亜属

園芸

1. 自然雑種について
2. 人工交雑
3. 栽培

参考文献一覧

エビネ属学名集覧

索引

購入申込書

八坂書房
唐澤耕司・石田源次郎 著
原種ランシリーズ
エビネ属
形態と分類

A5 上製
304 頁
本体価格 4,500 円(税別)

冊

氏名 _____ 住所 _____
〒 _____
電話 _____

取扱書店